

広域医療局の取組状況について

<これまでの取組み>

(1) 関西広域救急医療連携計画の推進

- ・ 関西広域救急医療連携計画推進委員会の設置
計画に位置づけた施策や取組目標の着実な推進を図るため、外部有識者からなる「関西広域救急医療連携計画推進委員会」の設置を行った。
- ・ 取組みに関する情報発信
韓国 KBS 等に対し、「関西広域救急医療連携計画」の説明を行った。

(2) 広域的ドクターヘリの配置・運航

- ・ 平成25年度の政府予算に対する提言
ドクターヘリの安定的な運航体制の確保を図るため、予算枠の確保や補助基準額の見直しについて厚生労働省へ提案を行った。
- ・ 大阪府ドクターヘリによる京都府南部への運航拡大
京都府南部への運航拡大に向け、大阪府、京都府、関西広域連合の3者による基本協定の締結を行った(平成24年7月12日)。

(参考) 協定の内容

- ・ 運航範囲：京丹波町以南の市町村
(京丹波町、南丹市、亀岡市、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町、宇治市、城陽市、久御山町、八幡市、京田辺市、井手町、宇治田原町、木津川市、精華町、笠置町、和束町、南山城村)
- ・ 運航開始時期：平成24年9月中予定

・ 徳島県ドクターヘリの運航

徳島県ドクターヘリ運航開始に向け、徳島県及び兵庫県淡路島管内の消防機関に対し、運航要領や運航訓練等に関する説明会を開催した。

(参考) 徳島県ドクターヘリの概要

- ・ 運航範囲：徳島県内全域、兵庫県淡路島、和歌山県の一部地域
- ・ 運航開始時期：平成24年10月9日予定

・ 徳島県ドクターヘリデモ運航・見学会の開催

住民周知を図るため、実際の機体を使用した「デモ運航」や「見学会」を実施した。

＜今後の取組み＞

(1) 関西広域救急医療連携計画の推進

- ・ 関西広域救急医療連携計画推進委員会の開催
計画推進に関する助言や提言をいただくとともに、府県域を越えた新たな概念となる、「4次医療圏・関西」の構築に向け、「高度専門分野における医療連携のあり方」について検討を行う。

(2) 広域的ドクターヘリの配置・運航

- ・ 連合管内ドクターヘリによる相互応援体制の構築
「出動要請が重複した場合」や「多数の傷病者が発生した場合」において、複数のドクターヘリが補完し合う相互応援体制の構築を行う。
- ・ ドクターヘリ普及啓発フォーラムの実施
地域全体において十分な活用が図られる体制を構築するとともに、導入に対する「理解」と「気運醸成」を図るため、府県民を対象としたフォーラムを開催する。
- ・ 連合ドクターヘリの愛称募集
「広域医療局」の取り組みを府県民の皆様方に身近に感じていただけるよう、連合ドクターヘリについて、地域の方々に親しまれる「愛称」の募集を行う。

(3) 広域災害医療体制の整備

- ・ 災害時の広域医療連携マニュアルの作成
初動期の医療支援活動が迅速かつ円滑に行えるよう、関西広域連合及び構成府県における連絡体制や具体の役割を定める。
- ・ 災害医療訓練の実施
「内閣府広域医療搬送訓練（9月1日）」及び「近畿府県合同防災訓練（10月27・28日）」と連携し、構成府県のDMA Tやドクターヘリを活用した医療救護訓練を実施する。

(4) 人材の養成

- ・ 災害医療コーディネーター人材養成に係る共同研修の実施
災害医療に関する知識・スキルの向上、さらには顔の見える関係づくりを行うため、中心的な役割を担う人材を対象とした合同研修を実施する。
- ・ ドクターヘリ搭乗医師・看護師の養成プログラムの作成
管内の基地病院と連携し、搭乗医師や看護師の研修プログラムを整備し、関西から「救急医療人材」の養成に取り組む。